

震災からの復旧・復興へ向けて全国の自治体職員から応援をいただいています

●土木部応援県職員の皆様の活躍

県土木部では、震災で甚大な被害を受けた社会資本の再生に向けて、膨大な業務量に対応するため、発災直後から平成24年度までに、全国31都道府県のべ450名以上の応援をいただきました（自主派遣も含む）。平成25年度は、29都道府県112名の皆様が復興の最前線で活躍しています。

●全国からの応援に対して

8月から9月上旬にかけて、当県土木部、農林水産部の幹部職員が、現在派遣をいただいている都道府県を訪問し、これまでの応援に対するお礼と、平成26年度以降の継続派遣要請を実施しました。合わせて、震災からの復興に関する報告会を開催し、多くの方に参加いただきました。お忙しいなかご対応いただいた全国の皆様に感謝申し上げます。



▲訪問状況

新生宮城の発展に向けて



がんばるっちゃ!

○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>

TEL: 022-211-3108 E-mail: dobokgk1@pref.miyagi.jp

バックナンバー:

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/fukou-dayori.html>

宮城県土木部復興だより

第11号

平成25年9月20日発行

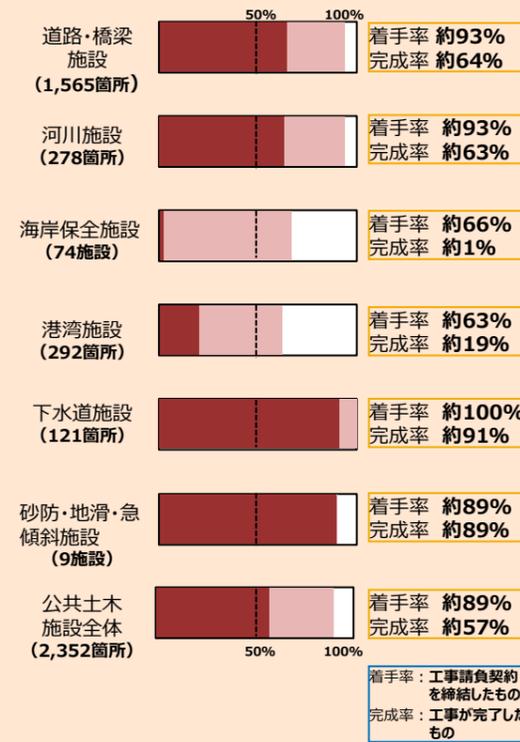
Contents

宮城県土木部の最新の復旧・復興関連ニュースを2ヶ月に一回のペースでまとめて発信しております。

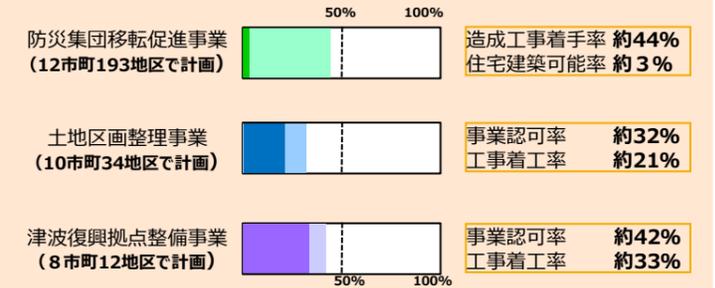
- 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【8月末現在】
- 土木部復興トピックス
- 震災からの復旧・復興へ向けて全国の自治体職員から応援をいただいています

東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【8月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況

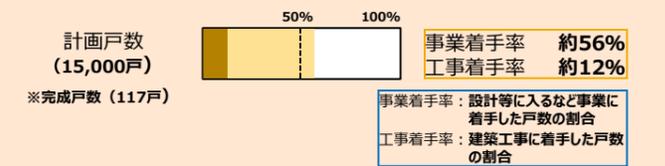


●復興まちづくり事業の進捗状況



造成工事着手率: 工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
住宅建築可能率: 事業造成工事が完了したなど住宅等建築工事が可能となった地区の割合
事業認可率: 事業計画が知事の認可を受けた地区数の割合
工事着手率: 施工業者が事業用地内の工事に着手した地区の割合

●災害公営住宅の整備状況



▲詳しくはURLを参照願います <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



土木部復興トピックス (7月中旬～9月上旬)

● 7月13日 石巻市中里7丁目地区災害公営住宅 入居開始

石巻市中里7丁目地区では、民間業者が建設した住宅を災害公営住宅として借上げる方式で20戸計画しておりましたが、この度住居が完成し入居を開始しました。
石巻市では、9月5日に吉野一丁目地区、黄金浜地区で災害公営住宅に着手するなど着実に整備が進んでいます。



● 7月25日 南三陸町志津川地区復興まちづくり事業着工式 開催

志津川地区では、津波復興拠点整備事業をはじめ、防災集団移転促進事業、被災市街地復興土地地区画整理事業等の大規模な復興まちづくりが計画されています。住宅は高台へ移転し、志津川地区の旧市街地は、商業や産業を中心としたまちづくりが進められます。



● 7月31日 山元町新山下駅周辺地区市街地整備工事安全祈願祭 開催

● 8月7日 山元町新坂元駅周辺地区市街地整備工事安全祈願祭 開催



山元町ではJR常磐線 山下駅と坂元駅の移設の計画と合わせて復興まちづくり事業を計画しております。新山下駅周辺地区内には、教育施設や商業施設等の整備が進められる予定です。新坂元駅周辺地区内には、営農施設や商業施設等の整備が進められる予定です。



● 7月18日 平成25年度宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会 開催

本大会は建設技術の向上に寄与するとともに、本格化している震災からの復旧・復興工事の安全の確保に寄与することを目的としています。今回、宮城県発注に係る建設工事のうち、優良な工事を施工したとして88の業者と事故防止優良者として95名の現場代理人の方々を表彰しました。



▲詳しくはURLを参照願います
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kai25.html>

● 7月28日 気仙沼市鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地地区画整理事業着工式 開催

両地区とも地区の大部分を津波が来ても浸水しない高さまで盛土するなどして安全・安心なまちづくりが進められます。



● 8月2日 仙台空港アクセス鉄道 利用者数1500万人達成！

平成19年3月から運行している「仙台空港アクセス鉄道」は、仙台駅から仙台空港まで最速約17分で結ぶなどの利便性の高さから多くの方にご利用いただいております。



▲詳しくはURLを参照願います
<http://www.senat.co.jp/event/index3.html>

● 8月6日 「仙台-バンコク線」が12月より新規就航決定

タイ国際航空による「仙台-バンコク線」が、12月4日から週に3往復運航いたします。新規就航の決定に伴い、同航空日本地区総支配人ウィット・ピヤウィロ氏は、若生副知事を表敬訪問し「本路線開設が復興に向けた一助となるよう、当社としても東南アジアから宮城・東北に多くのお客さまをお運びしたい」と述べられました。



▲詳しくはURLを参照願います <http://www.thaiair.co.jp/special/sdj/index.html>

● 8月29日 津波避難に関する勉強会 開催

現在、沿岸市町においては、震災での教訓を踏まえ「津波避難計画」を策定・検討しており、既に一部市町では、計画に位置付けられた津波避難施設整備について復興交付金事業で採択された事例や自治体独自の支援を実施しているところがあります。このような先進事例の紹介や津波防災施設の見学を通じて、知識を深めるため、自治体職員などを対象に勉強会を開催しました。



● 9月1日 栗原市若柳地区など3地区の災害公営住宅 入居開始

栗原市では、若柳地区、栗駒地区、清水地区において市独自建設による災害公営住宅を合計15戸計画しており、この度、そのすべての住居が完成し入居を開始しました。



● 9月4日 大島架橋 本体工事着手

復興のシンボルに位置づけられている「大島架橋」の橋梁本体工事施工業者が決定し、年内には工事が動き出すこととなりました。大島架橋は、気仙沼市の本土と大島を結ぶ中路アーチ橋で、平成30年度供用を目指しています。なお、大島架橋へ接続する道路として二ノ浜道路改良工事、(仮称)二ノ浜トンネル工事(1号、2号)、(仮称)磯草トンネル(3号、4号、5号)工事については、すでに着手しています。



▲大島架橋の整備状況については、定期的な情報発信しております。詳しくは下記URLの「大島かけはし」をご覧ください
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/o-news.html>

● 8月24日 ハイスクールサミットin東北 開催

東日本大震災からの復興や今後発生する災害を見据え、未来を担う若い世代の「まちづくり」「みちづくり」活動への参画を促すとともに、全国に想いを発信することを目的として、全国から高校生が集まり、「元気な未来」をメインテーマとしてフォーラムを開催しました。



● 8月31日 第11回港湾感謝祭 開催

会場の石巻港(仙台塩釜港石巻港区)は、震災により地盤沈下するなど、大きな被害を受けましたが、港湾施設については、今年度中の完全復旧に向けて工事に取り組んでいます。石巻港は震災を経て3年ぶりに感謝祭を開催するなど少しずつ賑わいを取り戻しています。

